

学校を飛び出して、池田高校の先輩取材しよう！

## 特別支援学校の教員が語る 現状とその思い！ 〜追及取材〜

羽島特別支援学校  
教員 田代真希さん



羽島特別支援学校で教員として活躍している田代さんに、教員になるまでの過程と現在についてインタビューしました。

**Q：なぜ教員になろうと思ったのですか？**

小さい頃からの夢でした。高校の時、教育大付属高校に行かないかと誘われたが福祉の勉強をしてみようと思いい、日本福祉大学に進学しました。そのとき福祉の勉強を2年ぐらいいました。あるとき、大学のコース選択のとき福祉学部でも教員免許がとれることを知り、教員免許をとるコースを選択しました。そこで養護学校の免許と世界史の中学と高校の免許を取りました。その後、教育実習生として、大垣特別支援学校に行きました。そうしたら普通の学校で授業するよりも特別支援学校で授業をしたほうが自由度が桁違いに違たということが分かり、特別支援で教員をしたほうがおもしろいと感じました。そして、大学を卒業した時には大垣特別支援学校から「講師をしませんか？」と誘われ、講師として年間採用という形で2年間お世話になりました。その間に教員採用試験に受かって正式に教員になりました。だから、一番の理由は特別支援学校の授業づくりのおもしろさです。ちなみに私は教員歴二十年了。

**Q：教育で気をつけている事は何ですか？**

教師というのとはなく人と接する仕事です。しかも、その人と私たちが一緒に過ごせる時間は今日も明日も明後日もあるけど、今日という今の一日しかないのです。なので、ひとつひとつをどれだけ丁寧に手を抜かず過ごせるか。時に何が必要なのか何が大切なのかを毎回考えているが、一生懸命に考えているとやっぱり失敗もあるし、もっとこうすればよいと思った事もありました。いろいろ困ったことはありましたがその時にどれだけベストを考えてつくせるかが大事です。

**Q：一日の流れを教えてください。**  
朝、ほかの学校と比べて早く八時一五分に始業、先生は八時前後には学校にきています。朝来たら八時一五分から職員朝礼があります。その時に、連絡事項であったり今日気をつけることであったり子供の様子を、職員が共通理解しなければいけないので、報告しあいます。八時半ごろに子供たちが来て、五分ほど朝の会をした後、時間割に合わせて行なっています。バスがほしい三時半くらいに来るし、電車の子もそのくらいに帰ります。そのあと、三時四五分くらいから会議があります。職員の会議をします。会議が終わった後にみんなで授業の準備をします。なので、平均して帰るのは八時くらいです。遅くなる時や行事の前などは九時や十時になる時もあります。

**Q：親とうまく接するにはどんなことに気をつけていますか？**

自分でできることとできないことを見分けることです。私は何時間も子供と接してはいますが、親さんも十何年も一緒に過ごしているから、子供のことを一番理解しています。そういう姿勢で対立せず、ともに支援者として協力体制で頑張っています。

**Q：印象に残った生徒さんはいますか？**

クレヨンや石やせっけんなど何でも、食べてしまう子がいたんですけど、それに対しての対処法を勉強をして、止めるためにどういうことをしなくちゃいけないのか、どういう症例があるのかを考えて行ったりルール作りをどうやって作っていくのかを



**Q：進路について生徒に伝えたいことはありますか？**

一般の企業に就くのですが、ある程度の企業になると障がい者を何パーセント入れなさいということになります。そういう枠に入らせてもらっているのですが、学生じゃなくて社会人になっていくことは君たちと一緒にです。でも人とかかわって人と生きていくことを十分に味わいながら生活していけるといいかなと思います。ありがたうが言えるようになるというかな、ごめんなさいよりもありがたうが言えるようになる人生になってほしいです。

**Q：田代さんにとって働くことはなんですか？**

自分のやりたいことをやっています。それは仕事だけじゃないかもしれない。例えば遊びや旅行に行きたいとか、思ったことを実現するために、その手段を自分のやりたいことにしたり、旅行に行きた

**Q：人とうまく接する方法を教えてください。**

同じようにすべての人と接しようとしなくてもいいと思います。話すのは自分だが、態度や深さを同じにしなくてもいいのではないかな。どうしてもつらい時や何かにつかつた時など、自分の主張と相手の主張がぶつかることがあった時、この人とは今は分かりあえないんだ。そう思って付き合っていくとか、自分の中で対応の仕方を考えていけるといいと思います。ただ、まだ高校生なのでたくさん失敗して、たくさん傷つく。そうして耐性を作っていく、もっと、たくさん感情を学習していったほうがいいと思います。



**Q：講師というのとは何ですか？**

講師というのは、何月何日から何月何日まで、または一年間やるというふうに期間限定の仕事です。その期間限定は更新できるのですが、ずっとやって

いということが大きかったら、お金を稼ぐために働く、やりたいことをやりたいようにやる。このような例が私にとって働くということなんです。でもルールは守ってその中でやりたいことをやっています。

**Q：最後にメッセージをください。**

いっぱい泣いて怒って笑って感情の揺れ幅をもっと味わえばいいのと思います。なんとなく過ぎて面白かった、すごいこれ今日楽しかった、超面白かったんやけどどう思う、ということがあったり、何でこんなことが起きたんやろうや友達とぶつかって悩んで怒って、最後にもっと感情が深まっていきます。だから、とことん人と張り合うところまで行ってくれるといいです。だから、社会人になる前に喧嘩などで人とぶつかりあって味わえるといいかなと思います。それがみんなの心と精神を強くして、社会に出た時に、人間関係で悩んだ時の土台となるので、もっといっぱい、笑って悩んで泣いて怒って高校生活を楽しめばいいと思います。

取材・記事：渡辺 大翔

